

# 自動車基準認証国際化行動計画(概要)

## 成長戦略

### 政府新成長戦略

日本の技術・基準をアジア諸国等と共同で国際標準化

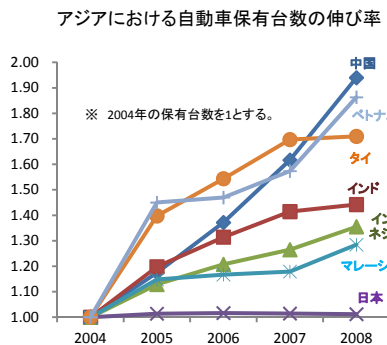
アジアの成長と「安全・安心」の普及を実現しつつ、日本企業がより活動しやすい環境を整備

### 国土交通省成長戦略

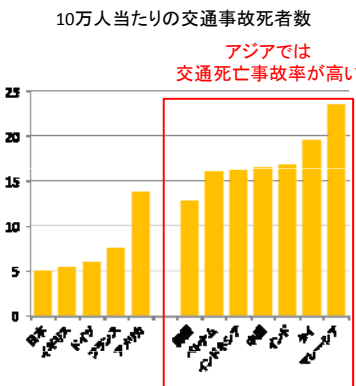
- ・政治のリーダーシップによる官民一体となった働きかけ
- ・国際部門、官民の連携の強化
- ・日本の技術・規格の国際標準化

## 自動車をめぐる世界の状況

### アジア地域におけるモータリゼーションの進展



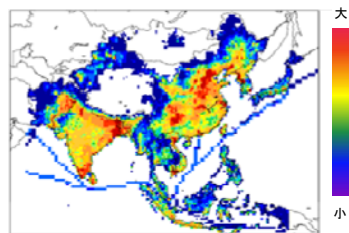
近年、アジアにおいて自動車保有台数が大きく増加



アジアにおける交通事故、大気汚染の防止が課題

### 黒煙の排出量(2020年予測)

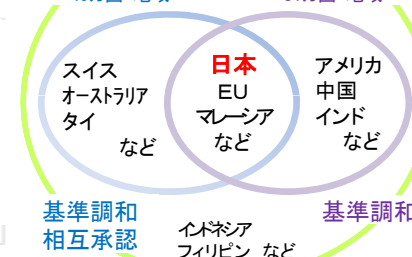
アジアにおける大気汚染の拡大



※ 国立環境研究所シミュレーションに基づく(対策を講じない場合の見通し)

### 国連自動車基準調和世界フォーラム(WP29)

1958年協定 49カ国・地域  
1998年協定 31カ国・地域



地球規模の課題への対応

気候変動、エネルギー問題

安全・環境性能に優れた自動車の普及の促進

我が国企業が国際的に活躍できる環境の整備

強靱なサプライチェーンの構築

## 行動計画の4つの柱

### 日本の技術・基準の戦略的国際標準化

- ・交通政策審議会等の結果に基づく車両安全対策の推進と国際標準化
- ・戦略的に国際標準化を行う仕組み
  - コア技術として期待される分野の特定
    - わが国に比較優位がある技術
    - 将来ニーズが期待される技術
  - 〔電気自動車技術、先進安全技術、高齢者保護、歩行者保護 など〕
  - 標準化が必要な領域の見極め
  - 官民で国際標準化ロードマップの共有
- ・国際標準化活動(ISO)との連携

### アジア諸国との連携

- ・ハイレベルでの政策対話、技術支援、官民フォーラムの開催などを通じた1958年協定加盟の支援・働きかけ
  - 〈ASEAN〉  
日・ASEAN自動車基準認証制度に関する協力プログラムの取組みの推進
  - 〈中国・インド・韓国〉  
両国専門家による年次の会合・フォーラムの開催、WP29等での共同提案
- ・ASEAN ACCSQ※に対する支援
  - ※ ASEAN Consultative Committee on Standards and Quality: (ASEAN域内で調和された基準認証制度の整備を目指す)
- ・アジア諸国の合意に基づいてWP29の対処方針を検討する場を構築

### 全世界的かつ車両単位の相互承認の実現

- ・新興国も参加する真の国際基準調和・認証の相互承認の実現
  - 新興国の多様性を許容する協定への改正
  - WP29の運営等の見直し
- ・装置単位の相互承認から車両単位の相互承認への転換(IWVTA※の導入)
  - ※ International Whole Vehicle Type Approval
  - 2016年3月までに乗用車分野のIWVTA技術基準策定
  - 認証制度に関する国際ルールの整備
  - 〔各国の基準策定権限の確保と、相互承認の効果の最大化の両立〕
- ・大型車・二輪車の基準調和の推進

### 基準認証のグローバル化に対応する体制の整備

- ・高い技術力と国際性を有する人材の確保
  - 高い国際性を有する人材の育成
  - 官民の連携による専門家の登用
  - 我が国の基準認証国際化活動を支えた世代のノウハウの確保・継承
- ・官民協働の会議体(JASIC※)の機能強化等を通じた官民連携の深化
  - ※ Japan Automobile Standards Internationalization Center
- ・官民における体制の整備
  - 戦略的な国際交渉のための組織強化
  - 国際的に権威ある審査機関の構築
  - 基準認証国際化支援研究体制の強化
  - 官民での技術データの共有

官民の強力な連携の下、行動計画を着実に実施するとともに定期的なレビューを重ね、自動車基準認証制度の国際化を推進